北山けいた議会活動報告　No.37　発行日　2023 年 5 月 1 日

「ちとせ」が変われば「みらい」が変わる

ちとせみらい通信

発行責任者：北山　敬太
千歳市末広 3 丁目 8-16
電話 090-2051-4048
FAX：0123-24-3876

Rapidus（ラピダス）社進出関連補正予算に関する質疑

本年 2 月に本市への工場建設がアナウンスされたラピダス株式会社関連の補正予算が、第 1 回定例会最終日の 3 月 27 日と、4 月 20 日に開かれた第 1 回臨時会で提案されました。私は両日とも補正予算案に対して質疑を行いましたので、その概要をお伝えします。

3 月 27 日　一般会計補正予算案（第 1 回）

第 1 回定例会最終日に　議案第25号として令和5年度千歳市一般会計補正予算（第1回）が議題となりました。この補正予算は、ラピダス社が進出を予定している千歳美々ワールドにおける、用地現況測量、分筆測量、開発行為変更許可申請資料作成業務など、必要な費用として、歳出に1億3,935万3,000円を追加し、財源として財政調整基金繰入金1億3,935万3,000円を充当するものです。

そこで、私は、過去に美々ワールド D 地区に進出したセイコーエプソン株式会社立地時と今回の事業費の比較について質疑を行いました。大和企画部長の答弁では、平成13年3月29日に千歳市土地開発公社とセイコーエプソン株式会社との間で土地売買契約が締結された際、千歳市土地開発公社では、平成12年度の事業として地質調査や画地確定調査などの調査測量等委託事業を実施しています。この事業の実績については、3,767万4,000円で、D区画の面積、16万528.56平方メートルで割り返すと、1平方メートル当たりの事業費単価は約235円、一方、今回の千歳美々ワールド整備事業費につきましては、1億3,935万3,000円でありまして、事業の対象となる面積は53万1,938平方メートルで割り返すと、1平方メートル当たりの単価は約262円ということでした。また、労務単価は、平成12年度には1日1万6,000円程度、令和5年度は2万2,000円を超えるなど、およそ36%上昇していることから、平成12年度とのケースの比較としては妥当であるとの答弁でした。

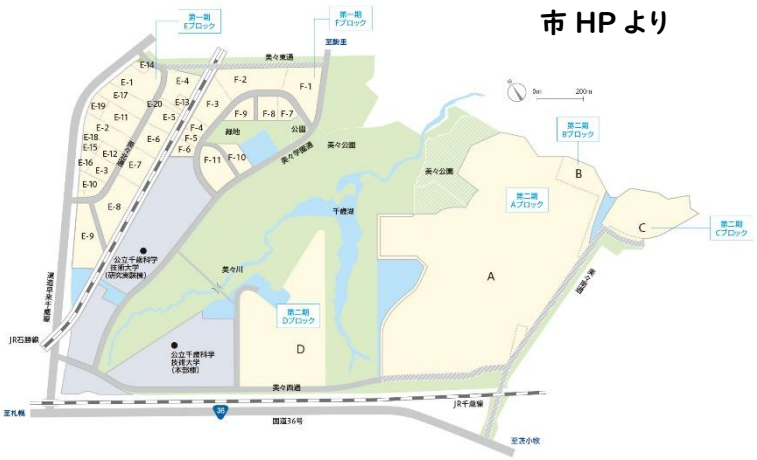
4 月 20 日第 1 回臨時会　一般会計補正予算案（第2回）、議案第2号令和5年度千歳市水道事業会計補正予算（第1回）、議案第3号令和5年度千歳市下水道事業会計補正予算（第1回）

4 月 20 日、臨時議会が招集され、議案第1号　令和5年度千歳市一般会計補正予算（第2回）の審議が行われました。

今回の補正予算のメインは、ラピダス株式会社の立地に当たり、水道管の新設や敷設済みの下水道管の撤去など、3 会計の総額で16億7,163万8,000円という巨額投資の是非です。

私はまず、この多額の投資額の是非の審議を委員会付託を省略して、即日即決しようというのは、いかに市側にスピードを要する事情があろうとも、議会としては、十分な審査を尽くす余裕が無いと苦言を呈しました。

市 HP より



ラピダス社が進出する予定の美々ワールド地区

質疑の第 1 点目は、今般の上水道、下水道の布設工事費を千歳市が負担することの妥当性についてです。ラピダス社からは、試作ラインに必要な上水道の供給量として、1日当たり4,000トンの供給を求められており、これに対応するため、柏台地区から延長4.7キロメートルの水道管を新たに布設する必要がある。また、これに付随し

て、第2期地区に新たな汚水管、雨水管の布設及び布設済みの既存管の撤去工事も必要になるとのことです。

私はこの質疑に先立ち、現在、千歳市内に進出している事業所の工場用途での有収水量について水道局に資料要求を行いましたが、全体169件の1日当たりの利用水量が合計で4,601トン、最大の利用者は飲料製造メーカーで、1日当たり1,600トン、1件当たりの利用水量は、平均すると27トンとのことでした。この美々ワールドを計画した際にも、これほど大量の水を使う企業が立地するとは想定していなかったはずで、これが常識的な使用量で足りるという企業であった場合、セイコーエプソン社が位置する第1期Dブロックから先につながる水道管の布設のみで済むはずです。これらの想定を超える対応については、いかにオーダーメイドとはいえ、立地企業の都合によって行わなければならない、市にとっては本来義務のないオーバースペックな工事であり、受益者負担を求めるのが筋ではないかと主張しました。

市の答弁では、美々ワールド第2期地区につきましては、現在、開発途中の未造成の土地であり、市が、当該地の開発事業者として、必要な道路や上下水道の整備を行う必要がある土地であることから、ラピダス社から第2期区域への立地と一体的な土地利用に関しての希望があったので、立地に伴う必要なインフラ整備に関しては開発事業者たる市が負担するのが当然とのことでした。

もし、一般会計で債務負担をする16億7,000万円余りを市が負担しなくても済めば、そのお金を、これまで財源を理由にできないと言われてきた福祉施策や子育て施策の助成に充てることもできます。投資規模 5 兆円という超ビッグプロジェクトの中で見れば、わずか 16 億 7,000 万円の工事費を受益者負担で求めることに無理があるとも思えません。その打診すらしていないというのですから、財源の保全と予算執行に対する市の認識の低さにはただただ唖然とするばかりです。

次に、私は次世代半導体の開発生産という国家プロジェクト事業の継続性への懸念について尋ねました。ラピダス社は前人未到の回路線幅2ナノという超先端半導体を世界に先駆けて開発し、量産する使命を受けていますが、これまで政府肝煎りの国家プロジェクトの成功例が無く、先日3月29日には337億円の負債を抱えて、有機ELパネル製造会社JOLEDが経営破綻しています。さらにもう一点気になることは、今回ラピダス社が進出予定の美々ワールドの用地は、将来の取得を前提とはしているものの、定期借地権設定による貸付けだという点です。この日のあいまいな答弁からは、売買が確約されていない借地に、多額の先行投資をするというリスクについて、市が明確な自信と担保を得ているとは到底感じられませんでした。

この他、本稼働後の水源確保の見通し等についても尋ねましたが、現状では何もわからないという不明瞭な答弁に終始しましたので、本議案については、私を含めて 4 名の議員が反対しました。逆に何の質疑もせずに賛成した議員については、何をもってわずかな時間でこの多額の補正予算計上を正当と評価できたのか不思議でなりません。ぜひ市民に対してその理由を詳細に説明していただきたいものです。

市政や議会に関するあなたの疑問やお困りごとをぜひ北山けいたにお聞かせください。

メール：mail@kitayama-keita.com
ホームページ：http://kitayama-keita.com

私、「北山けいた」は、「公正・公平」な社会と、お子様からお年寄りまですべての世代が笑顔で生活できる環境の形成を目指しています。皆さまの市政に対する素朴な疑問をご遠慮なくお寄せください。また、市民参加型の市政運営を目指して、様々な市民活動も積極的に支援しております。
お問い合わせは上記のメールからお願い致します。

ちとせみらい通信は私の想いを届けるかわら版です。